会　議　録　要　旨

１．会議名称	令和８年度 第１回 恵庭市公営企業経営審議会
２．開催日時	令和８年９月７日(木)　１３時００分～１４時３０分
３．開催場所	恵庭市第２庁舎　２階　大会議室
４．出席者名	【委員】　中川　淳一　　大滝　裕子　　山内　優一　　片山　昌史 梶原　芳典　　落合　信也　　中村　忠司　　橋本　千津子 【市側】（水道部部長）　江蔵　正治　　（水道部次長）　長谷　晃司 （経営管理課長）　佐藤　洋介　　（同主査）　　五十嵐　大人 （同スタッフ）　安藤　結衣・藤原　拓馬 （下水道課長）　金　伸彦
５．審議会の経過 （１）開会 （２）委嘱状交付 （３）報告	※以下は、事務局が発言の要旨を要約しており、いわゆるテープおこしをしたものではありません。 【令和７年度 公営企業会計決算について（資料①)】～【令和７年度ストックマネジメント調査に基づく管路緊急修繕の実施について（資料⑤)】の各報告ごとに、説明と質疑を行う形式とした。 ○令和７年度 公営企業会計決算について（資料①) ※経営管理課長より説明。 ＜質疑応答＞ （委員） 経営指標の借入額についてだが、水道事業令和７年度決算で１億４０００万円と示しているが、３月の経営審議会では決算見込みで２億４４００万円であったが、１億４００万円減となった要因は何かお聞きしたい。 （説明員） 当該水道事業の企業債は、借り入れることで地方財政措置がある企業債ではないため、資金繰りや世代負担の公平性の観点から借入額を設定している。 このことを踏まえ、会計全体における現金収支の均衡を図ることを目安とし、１億４０００万円に抑えたもの。

	（委員） 　下水道事業でも、下水道事業令和７年度決算で借入金が７億６９００万円、決算見込みでは９億２９００万円であったが、１億６０００万円減額となった要因は何かお聞きしたい。 （説明員） 　当該下水道事業の企業債は、地方財政措置がある為、基本的には建設改良事業を行った分、借入することとしており、それに応じて企業債借入額も変動する。 　令和７年度は、予算と比べて建設改良費の執行額が減少したため、企業債も予算より減少したところ。 ○上下水道経営戦略の進捗状況について（資料②） 　※経営管理課長より説明。 ＜質疑応答＞ （委員） 　１億円の有価証券は何を買ったのかお聞きしたい。 （説明委） 　北海道債を購入した。なお、５年債であり、満期まで保有する予定。 （委員） 　水道事業の修繕費が計画よりも少なかった理由と今後の計画は、決算を踏まえ変更していくのか伺いたい。 （説明委） 　修繕費については、計画的に修繕を行うものもあれば、突発的に発生し対応するものもあるため、年度によって変動が生じる経費である。計画値は経営戦略に基づく値であるため、今回の決算を踏まえて見直すことは考えていないが、来年度にかけて経営戦略の改定作業を行う過程で適切な額を検討していくことになる。 （委員） 広域化の推進の他事業体との人事交流や意見交換会の実施の結果について得られた知見や成果を関連部署内で共有されているのかお聞きしたい。 （説明員） 　広域化については、各自治体の意向や状況が異なることもあり、具体的な成果は無い。一方、意見交換については、継続して実施しており、日頃の業務上の課題等を情報交換し、その結果について共有している。

	（委員） 地球温暖化対策への貢献について具体的にどのようなことを行うのかお聞きしたい。 （説明員） 下水終末処理場で行う汚水の処理工程で発生するガスを発電用の材料として利用している。処理場で使う施設関係についても、隣接するゴミ処理場施設から供給することで施設維持にかかる二酸化炭素の発生量を抑えている。また、敷地内に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーを処理場で利用することで温室効果ガスを抑制している。 （委員） 老朽塩化ビニル管の更新について、能登半島地震でも問題になっていたが、極めて耐震性の低いものであることから、国では耐震性の継手管のようなものを推奨していると思うが耐震化についてどういった取り組みをしているのかお聞きしたい。 （説明員） 基本的には現在口径が 150㎜ 以下については水道配水用ポリエチレン管という硬質な耐震管を使用している。それ以上の管ついても耐震管を使用している。概ね計画通り進捗している。 （委員） 経営戦略の中間見直しの際に水道料金改定の検討を令和８年度から進めると聞いていた。令和９年度にかけて経営戦略の改定を進めるとのことだが、実際どういった見立てで進めていくのかお聞きしたい。 （説明員） 今年度から令和 9 年度にかけて改定する経営戦略において、次期計画期間（令和 10 年度から 10 年間）における料金水準の妥当性についても検討することとしている。中間評価にはなるが、今年度末頃に計画期間内での料金改定の必要性等について示すことを予定している。 ○水道スマートメーターの郊外部への地区的導入実証実験について（資料③） ※経営管理課長より説明。 ＜質疑応答＞ （委員） 郊外部の実証実験次第では、今後どうしていくつもりなのか

	（説明員） 　現時点ではどのように進めて行くか定まっていないが､実証実験を進めながらメリットやデメリットを整理の上、検討していくことになる。 ○下水道管路の全国特別重点調査の結果について　（資料④） 　※下水道課長より説明。 ＜質疑応答なし＞ ○令和７年度ストックマネジメント調査に基づく管路緊急修繕の実施について（資料⑤） 　※下水道課長より説明。 ＜質疑応答なし＞
（４）その他 （５）閉会	○今後のスケジュール・委員報酬等の支払い、施設見学について 　※経営管理課スタッフより説明。 終了時間１４：３０